

2011年10月から開始した仕事の場が
丸5年を迎えました!
始まりは3名からのスタートだった「仕事の場」も
5年たった今は
総勢40名にもなる大所帯となりました。
今号では、最近の「仕事の場」での様子を中心にお届けします。



「猫じゃらしの部品作り」は5年間続けています。

仕事の場が始まって、最初に受けた「猫じゃらし作り」の仕事は、現在も続けて取り組むことができます。細くて長いパイプを指定された長さに切るというものです。

どうしたら正確に同じ長さに切れるのか、当時の参加者と話し合いを重ね、目盛りを付けたまな板にパイプの端を合わせて当てる金具がついた道具が完成しました。

それから5年経ち、カッターナイフが当たる部分のまな板が随分とへこみましたが、この作業ができる人は多いのです。

新しい仕事に挑戦してみても手順がどうしても覚えられなかったり、立体の感覚が掴みにくく組み立てが難しかったりする人でも、このパイプ切りは不思議なくらい出来るのです。

私たちがこの様子を見ていて感じることは、病状が早い段階に覚えたことは忘れにくいのだな、ということでした。記憶の種類で言えば、「手続き記憶」というもので、比較的長く保たれる記憶と言われています。

そんな活かせる力をフルに活用しながら5年間やり通すことができました。ただ、一方では、「今日は何センチの注文が来ているのか?」ということのを記憶にとどめることはできません。その忘れてしまうことについては、テーブルに貼ってある「今日は3センチです」と書いたメモを何度も一緒に確認しながら頑張っって切っています。

できることとできないことの両方とうまく折り合いをつけながら、これからも頑張ります!



▲ 猫じゃらしの作業風景



▲ 猫じゃらしの検品

終了した仕事もあります。

終わりとなった その理由は



認知症の症状に、手に運動まひはないのに動作が出来ない「失行」や、物は見えているのにそれが何かわからない「失認」という症状があります。

それは仕事の間で作業を行う中でとても大きな影響を及ぼします。

貯金箱になる箱の蓋を取り付ける作業では、箱と蓋を合わせることが難しく、力ずくで入れようとしてしまい商品がいくつも割れてしまいました。ゴムのマットを丸めてビニールシートで包む仕事をした時は、どこにマットを置くのか、どこを持てば包めるのか分からなくなりビニールシートをマットに巻き込んだり、仕上がりの大きさやテープの位置がバラバラとなりすべてをやり直す事もありました。

この出来事のすべてが、病気の症状によって難しくな

ったことでした。

スタッフも何とか分りやすくするには？…と作業の工程を見直したり、分担を変更したりと、色々と考えチャレンジしましたが、できないことは病状の変化に伴って増えてしまいました。

工夫した結果「できない」と判断し、発注元にお断りをする事を参加者に伝えると「仕事やし迷惑はかけられない」と仕事の間の始まりの時と全く変わらない返事が返ってきました。参加者の気持ちはいつも変わらないと思う瞬間です。

これからも出来なくなることはあると思います。それでも、今できることが続けられるように出来なくなってもそれを受け入れ、いま出来ることを探しながら進んでいきます。これが私たちの理念です。

デイサービスの理念

私たちは、病気を抱えながらも「今」を生きる人たちを全力で応援し、出来なくなったことがあってもそれを受け入れ、今、出来ることへと変えるケアを行います。その人の可能性を諦めず、そのための工夫も惜しみません。

新しい仕事は夢のあるお仕事です!

今年のクリスマスが 楽しみに...?



いくつかの仕事が終わっていきましたが、新しい仕事も始まりました。

今回の仕事はクリスマスのブーツ作りです。クリスマスになるとお菓子がたくさん入ってお店に並んでいる、あのブーツの土台部分を組み立てています。

仕事の場に参加している皆さんは、新しいことは少し苦手です。また一から仕事を覚えなければなりません。しかし、今回新しくブーツ作りの仕事が始まることを伝えると、ほとんどの人から、「やったな!」との声上がり、ほぼ全ての人組み立てにチャレンジしました。

これから先仕事が減っていくこと、もしかしたら無くなることもあるかもしれないことをスタッフも何度も伝えており、皆さんもそのことをひしひしと感じていたからこそ、新しい仕事への喜びと期待があったのでしょう。

そして何より、この仕事は夢があり、見た目も楽しく、「子供たちのために」と意欲的にもなりました。

はじめは、組み立てる向きがわかりにくかったり、糊付けの段階で汚してしまったりと、うまくいかないことも多くありました。しかし、スタッフが何度も繰り返し伝えたり、ボランティアさんの力を借りて、やり方を工夫し、道具を変えてみることで、2回目には不良品の数が劇的に減りました。作業のスピードも上がり、スタッフからの声掛けの回数も減りました。

休憩時には、リラックスした気持ちにもなられたのか

「子供が喜ぶ夢には大人の現実があるんやなあ」との冗談も飛び出し、「今度のクリスマスには孫に買ってあげようかな」との話も弾みました。

実は、このクリスマスブーツは滋賀県の草津市が発祥の地だそうです。その発祥の会社から仕事を受けています。そのことも、参加者の皆さんには初耳で、「滋賀県の産業のためになる」とやる気にもつながりました。

この仕事を一番最初に交渉してきてくださったのは、仕事の場に参加するボランティアさんでした。また、会社の方達も、少しでもやりやすい方法を教えてくださったりと温かいお気持ちに支えられています。



仕事の後には 全員で頭のリハビリをしています!!

現在内職作業の終わりにドリルプリントを皆で取り組んでいます。内職の受注が減り今後についてのアンケートをとったことが取り組みのきっかけでした。

アンケート結果で一番多かったのは、内職作業がなくても、水曜日に集まりリハビリになることを取り組みたいという意見でした。内職作業のためだけではなく、自分の病気を意識しリハビリの目的を持って参加されていることを改めて知ることが出来ました。

実際にプリントに取り組んだ日のはじまりはプリント?との雰囲気も一瞬出たのですが(おそらく皆さん忘れていたのだと思います。笑)、取り組み始めるとにぎやかにリラックスした様子に変わり、今では「今日は何のプリントや~?」と毎回恒例のプリントの時間を楽しみにされている様子です。

毎回仕事終了時に記入する振り返り用紙には「頭のリハビリが楽しく出来ました」「今後も続けて欲しい」と前向きな意見も多く、普段多くは言葉にされていませんが、病気のこと、何か自分に出来ることはしたい、という気持ちをいつも変わることなく、持っておられるのだと思いました。

これからも参加者と一緒に病気に向き合いながら取り組んでいきます。



● 当広報誌(café通信スノードロップ)に掲載する広告を募集しています。

社会的信頼度・組織企業のイメージアップにつながります。

- ▶ 広告種類…記事下広告(カラー印刷) ▶ 広告サイズ…よこ174mm×たて30mm(当枠サイズ)
- ▶ 広告回数…3回/年 ▶ 発行部数…1,500部/年
- ▶ 配布先…もの忘れカフェの仲間たち会員・ご家族・支援者・医療・福祉関係者・行政機関 ほか
- ▶ 広告料金…1枠 3,000円/1回

■ 広告掲載のお申込・お問い合わせは
Tel 077-582-6032
(NPO法人 もの忘れカフェの仲間たち 担当/奥村まで)

NPO法人 もの忘れカフェ®の仲間たち主催で行っている 『自主勉強会』

第2回認知症にかかる医療と介護の滋賀県大会が、ピアザ淡海にて12月18日に開催されます。

この大会は、滋賀県で認知症について前向きに取り組む多様な職種の方が日々取り組んでいることの実践報告を行う会となっており、そのための自主勉強会をNPO法人もの忘れカフェの仲間たち主催で2回開催しました。

各回ともに県内10か所以上の施設・事業所からの参加があり、発表に向けて自分たちの取り組みをまとめています。自分たちが普段から取り組んでいることをまず言葉にしてまとめることで改めて見えてくることも多く、毎日関わりを持つことだけがケアではなく、自分たちの実践をまとめあげ、評価を得るといふことの大切さを実感しています。

勉強会後のアンケートには、「自分たちのしていることをまとめることで、また次の方向性が見えてきた」「日

々取り組んでいることを形として残しておくことが大切と感じた」など取り組み報告に向けてまとめることだけでなく、自分たちの次に向けての課題が見えてきたと前向きな意見も多く、日々勉強なのだと感じています。

他の施設・事業所、他職種の方が集まることで、また違った視点からのやり取りもあり勉強になる部分も多く、自身の施設外での取り組みも知ることができ、日々お互いに取り組んでいる姿を知れることで、自分たちもさらに頑張っていこうと励みになることも多く、たくさんのごことを得る時間となりました。

自主勉強会は11月に第三回目が行われる予定で、内容は当日に向けてのプレ発表の予定となっています。自分たちが日々取り組み、勉強してきたことが形になることで、これからのケアの質の向上へ向けてのさらなる一歩につながればと思います。



▲ 上記写真は自主勉強会の様子 (左右2枚とも)

会 員 募 集

平成28年度NPO法人もの忘れカフェの仲間たちの会員になり、一緒に活動しませんか？

平成29年カレンダー販売のご案内

毎年ご好評いただいているカレンダーを、今年も販売いたします。藤本クリニックデイサービスの参加者の皆さんにご協力をお願いし、今回はテーマを決めて制作することになりました。皆さんに良いものをお届けできるよう、只今張り切って制作中です。乞うご期待！来年も一年、このカレンダーで心と和んでいただけ幸せにお過ごしいただけたらと思います。

● NPO法人もの忘れカフェの仲間たちへの入会ご希望の方、カレンダー購入ご希望の方は詳しくは「藤本クリニック」へお問い合わせください。



▲ 上記写真のカレンダーは平成28年のものです。

スノードロップの

つ・ぶ・や・き

猫の額ほどの畑

私たちのデイサービスでは、猫の額ほどの畑をお借りしています。

5月、プチトマトとさつまいもを植えました。

夏の初めにプチトマトは無事収穫。

男性グループがトマトゼリーを作り、

いただきました。

(作るの大変だったけど、美味しかった)

残るはさつまいもです。

今年は猛暑。外出はできません。「もう草わらになっただるで」と心配される方、「芋はほっとい

てもできるし大丈夫や」と心強い言葉も。

さて、畑はどうなってるか… 楽しみです(笑)

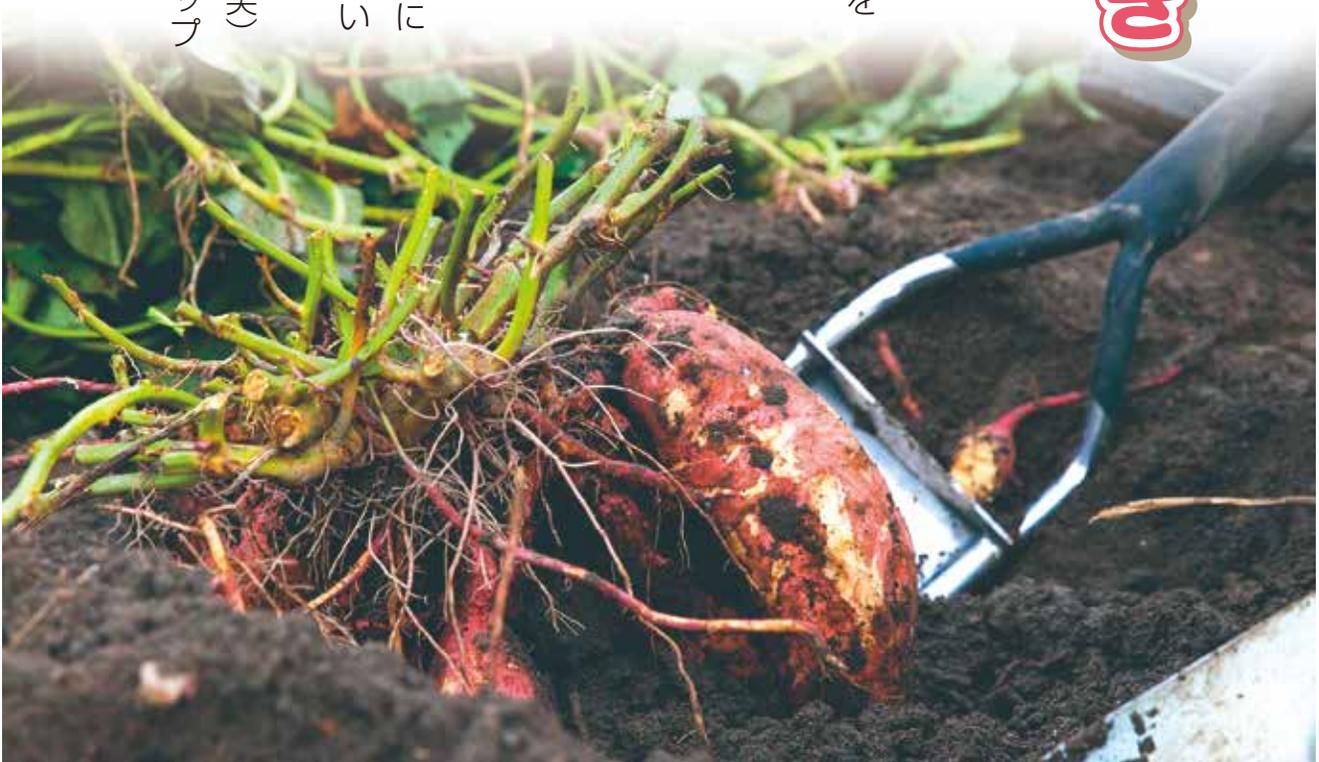
収穫のあとは、春に掘り起こしたスノードロップ

の球根を植えなければ!

来年の春の初めには、

また可憐な花が咲きますように。?

?



編集後記 ~ monowasure ~

今号は、仕事の場5周年を迎えたことから、仕事の場特集といたしました。参加者がいないと言ったらやめる…という考えの元に始まって、あっという間の5年間。よく働きました。まさしくこの場所こそが、支えること、支えられることの垣根のない場所になりました。

